

---

# リセット

柊 六花

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

リセット

### 【Nコード】

N2598S

### 【作者名】

柊 六花

### 【あらすじ】

「時間を戻したいって思ったことない？」とアヤは唐突に訊くが

「時間を戻したいって思ったことない？」

不意にアヤが言くと、グラスの中の氷が溶けてカランと涼しげな音色を奏でた。

「どうしたの急に？」

アヤの思いがけない質問に、京子は驚いたように聞く。

「何となく……聞いてみただけ」

「ふうん？」

京子はストローをグラスの中でまわす。

「そうね、戻せたら素敵よね」

路地裏の小さなバーでの他愛ない会話。

薄暗い店内を静かに音楽が流れ、時折入るレコードのスクラッチ音がかえって心地良い。

「時間を戻せるとしたら、京子は何に使う？」

「うーん、何かな……」

京子は考え込む。

「ギャンブルとか？ 結果を見て戻すの」

アヤが笑った。

「俗物的ね」

京子はムツとする。

「じゃあ、アヤは何に使うのよ？」

「……例えば、誰かと喧嘩しちゃった時……かな」

「喧嘩？」

「そう。京子は、喧嘩したあとで後悔したことってない？」

「……ある。実はこの前、由香里と喧嘩しちゃって大変だったんだ」

「えっ、由香里と？」

「うん、私の一言が原因で。言ったことは取り消せないからさ」

京子が溜め息をついた横で、アヤは静かに頷いた。

「そうね……喧嘩前に戻せたらいいわよね」

「でもさ」

京子はカウンターに肩肘を突く。

「喧嘩前に戻せたとしても、喧嘩を避けられるかしら？」

その言葉に、アヤの表情が心なしに憂いを帯びる。

「また同じことを繰り返しちゃう気がしない？」

「どうかな……」

アヤは頼りなく答えると、オレンジ色の液体を口に含んだ。

京子もアヤにならって一口飲む。そして、グラスをカウンターに置くと同時に話を切り出した。

「ねっ、それよりアヤ。相談に乗ってよ」

「彼氏のことでしょ？」

「あれっ、何で分かったの？」

京子が不思議そうに尋ねた時、流れていた音楽が突然リズムを崩した。同じ箇所を何度も演奏している。

京子がカウンター横に目をやると、困り顔をしたマスターがプレイヤーを覗き込んでいた。

「……ゴメンね」

唐突にアヤが小さく呟いた。

マスターの様子に気を取られていた京子が振り返る。

「何か言った？」

京子の言葉に、アヤは淋しそうに笑う。

「私も、聞いて欲しいことがあるの……」

空になったグラスをアヤは静かに置いた。

【終】

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2598s/>

---

リセット

2011年11月13日21時19分発行